

Employee's Profile



東京支店 臼井

初めまして。今年の2月中旬より東京支店に赴任しました臼井智彦と申します。ジャパントラストでの社歴は短いですが、35歳の転職組となります。直近までは名古屋本社で内勤営業として工作機械メーカー様のOOG案件などを中心にお取り扱いさせていただいておりました。転勤して間もないですが、この業界における関東エリアのマーケットの大きさを改めて感じつつ、そのぶんチャンスも大きいと、ますますやる気に満ち溢れています。現在は単身で東京に来ているため、休日は都会の様々な街を一人旅（散策）し、リフレッシュしています。今後も1社1社のお客様と「大事に」「深く」「末永く」お付き合いすることをモットーとし、プロとして最近の多様化した国際輸送ニーズに対応した最適なお提案をさせていただければと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



情熱羅針盤

ジャパントラストかわら版



海 運 豆 知 識

自動車専用船：1時間に120台を積み込む驚異の荷役速度

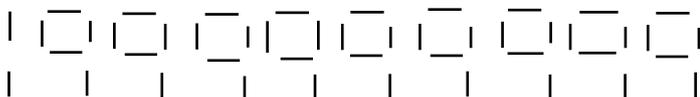
自動車専用船は、特定の貨物をより効率的に輸送することを目的に開発された様々な専用船の中でも、多くの点で個性的な特徴を持つ船種だが、その一番ユニークな点は、「走る貨物」である自動車の特徴を生かした独特の荷役方式だろう。専門のドライバーが、貨物である車を船内の積み付け位置まで直接運転して積み込むため、クレーンなどの荷役装置を必要とせず、しかもスピーディー。かつて一般貨物船にクレーン積みしていた時代の荷役では、1基のクレーンで1時間に15~6台というペースだったが、これが現在の荷役方式では、20名前後の荷役チームで1時間に約120台という驚異的な荷役速度を実現。まさに革命的ともいえる効率化とスピードアップをもたらした。わが国の自動車工業の生産額は、全製造業中の1割、機械工業中の3割を占め、日本経済を支える基幹産業として重要な役割を果たしている。自動車専用船は、その海外への輸出活動を支え、日本国内の生産基地と海外の市場を直結する、いわば海のベルトコンベア。今日も日本の優れた技術の粋を、世界の国々に運び続けている。



大黒埠頭で荷役中の自動車専用船

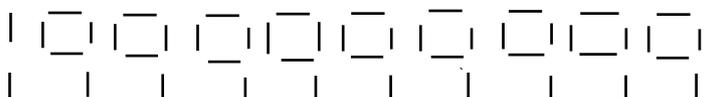
【前回のクイズの問題】

下のマッチを並べた数字に マッチ1本を足して1にするには？



【回答】

1の999999999 乗で答えは1になります。



見事正解された1名様には商品券を進呈させていただきました。多数のご応募ありがとうございました。